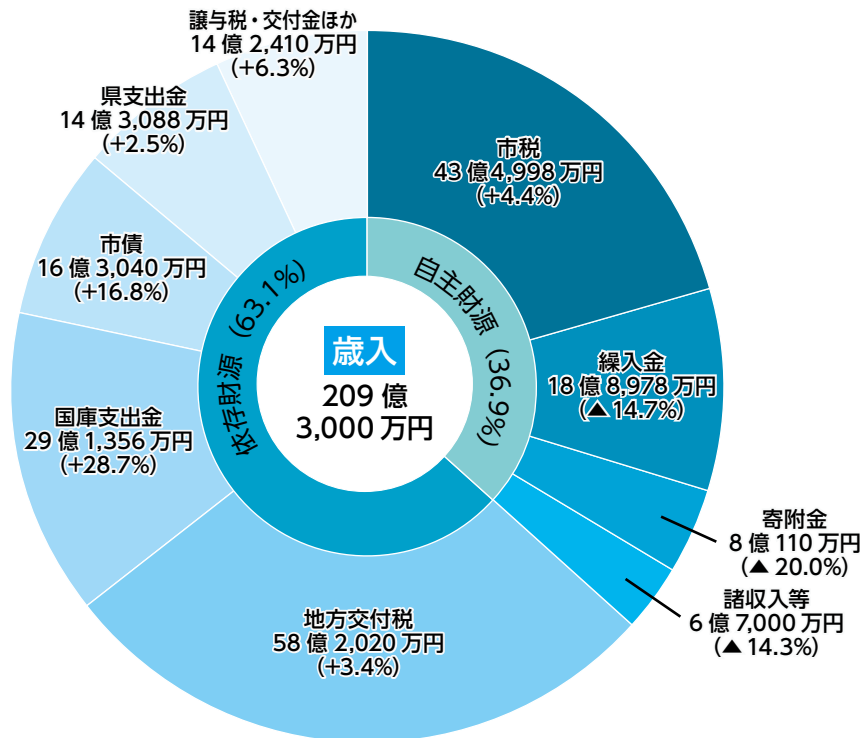


【問】財政課

(麻生庁舎)

☎0299-72-0811

一般会計の歳入



※ ( ) は、前年度比

※数値は、表示単位未満を端数調整しています。

令和8年度一般会計予算は **209億3,000万円**

計上しました。

+28・7%) 増の29億1356万円を

増加を見込み、6億4943万円(同

幹的設備改良工事に係る国補助金等の

国庫支出金は、麻生衛生センター基

円を計上しました。

円(同+3・4%) 増の58億2020万

見込まれることから、1億9020万

費の増加および物価高への対応経費が

円を見込んでいます。

円を計上しました。

円(前年度比+4・4%) 増の43億4998万

傾向等を考慮し、1億8296万円(前

びと、市たばこ税の売渡し本数の増加

額、企業収益改善に伴う法人市民税の増

連動した賃上げによる個人住民税の増

自主財源のうち市税は、物価上昇に

自主財源のうち市税は、物価上昇に

9%)、依存財源は132億1914万

円(63・1%)となっています。

歳入

自主財源は、77億1086万円(36・

327億4507万円となりました。

令和8年度行方市当初予算が、令和8年第1回行方市議会定例会で可決されました。

令和8年度の一般会計予算については、社会保障関係費、扶助費、人件費の増加や物価高への対応、公共施設等の老朽化への対応等、全国的な課題に対応しつつ、子育て支援のさらなる拡充や公共交通網の再構築など、真に必要なところに必要な投資を意識した予算を確保しました。また、通学路や幹線道路整備、東関東自動車道の行方PA(仮称)に隣接する地域振興施設整備等についても、合併特別債や過疎対策事業債、基金などを活用しながら推進するとともに、大規模な公共構造物の整備更新費用および物価高に伴う経常経費の増加にも対応した予算となっています。

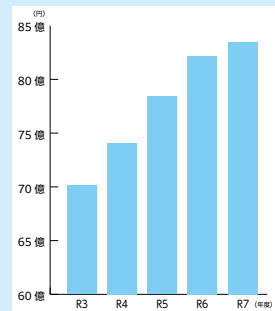
一般会計・特別会計・企業会計を合わせた令和8年度の予算総額は、

用語解説

市税	皆さんが市に納めた税
繰入金	特別会計や基金などからの収入
寄附金	市に寄附されたお金
地方交付税	皆さんが国に納めた税のうち、市の財政状況に応じて国から配分されるお金
国庫支出金	皆さんが国に納めた税のうち、特定の目的を達成するために国から市へ交付されるお金
市債	国や銀行などから借り入れるお金
県支出金	皆さんが国等に納めた税のうち、特定の目的を達成するために県から市へ交付されるお金

自主財源	市が自主的に収入できる財源
依存財源	国からの補助金など外部からの収入に依存している財源

一般会計 基金残高の推移



基金とは、積み立てた資金または財産のこと。数年前と比較して、増加しています。

※ R7 は年度末見込

## 特別会計予算

区分	予算額
国民健康保険	45億7,000万円
介護保険	37億1,600万円
後期高齢者医療保険	6億5,100万円
合計	89億3,700万円

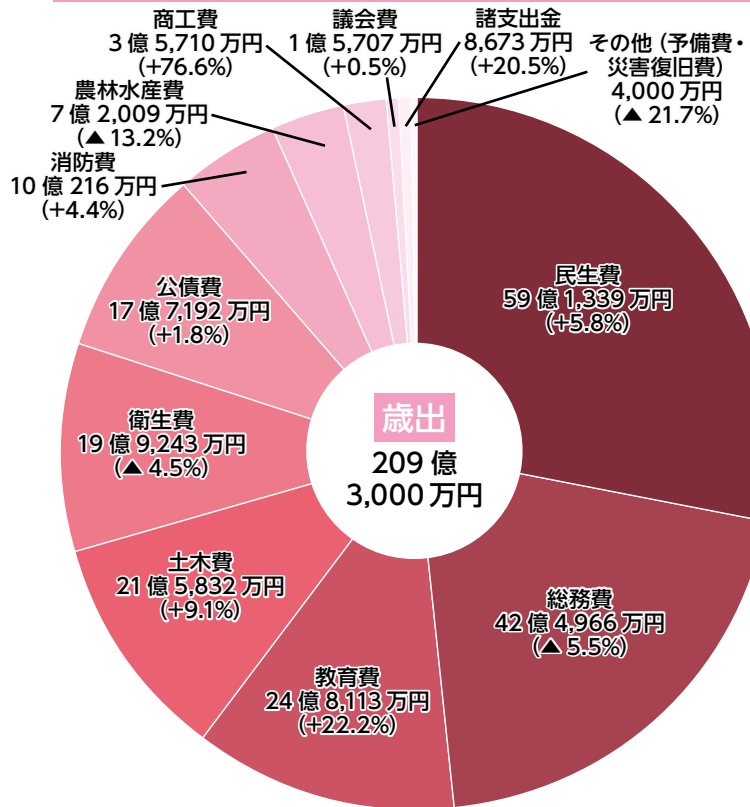
## 公営企業会計予算

区分	予算額
水道事業（支出額）	13億7,180万円
下水道事業（支出額）	15億627万円
合計	28億7,807万円

### 用語解説

特別会計	市が特定の事業を行う必要がある場合の会計
公営企業会計	事業収入を主な財源として、特定の事業を経理する会計

## 一般会計の歳出



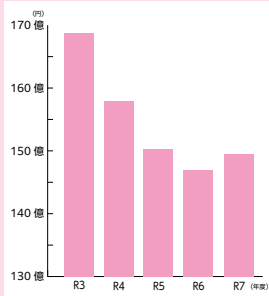
※ ( ) は、前年度比

※数値は、表示単位未満を端数調整しています。

## 歳出

民生費は、高校生に対する通学支援金の新設や認定こども園、保育所への施設給付費等の増額により、3億2445万円(前年度比+5.8%)増の59億1339万円を計上しました。総務費は、ふるさと応援寄附金の減額見通しに伴う事務費の減額等により、2億4576万円(同▲5.5%)減の42億4966万円を計上しました。教育費は、小学校体育館への空調設備整備に向けた設計委託料や、麻生運動場体育館空調設備工事等の増額により、4億5030万円(同+22.2%)増の24億8113万円を計上しました。土木費は、道路の新設改良や維持補修に係る設計、工事費等の増額により、1億7984万円(同+9.1%)増の21億5832万円を計上しました。衛生費は、環境美化センターの基幹的設備改良事業が完了したことに伴い、9458万円(同▲4.5%)減の19億9243万円を計上しました。消防費は、災害用トイレカーの購入や広域事務組合への負担金等の増額により、4223万円(同+4.4%)増の10億216万円を計上しました。

### 一般会計 市債残高の推移



市債とは、市が国や銀行などから借り入れるお金のこと。数年前と比較して、減少しています。  
※ R7 は年度末見込

### 用語解説

民生費	高齢者・障害者福祉対策や、子どもの福祉、医療福祉に関する経費	192,939円
総務費	市の運営経費や広報、統計調査、税、戸籍、選挙などの経費	138,656円
教育費	学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの経費	80,953円
土木費	市の道路、河川、公園などの経費	70,420円
衛生費	予防接種や各種健診などの保健衛生、ごみ処理事業などの経費	65,008円
公債費	市債の元金、利子の返済の経費	57,813円
消防費	消防体制の維持や消防活動の経費	32,698円
農林水産費	農林水産業の振興、農地の基盤整備などの経費	23,495円
商工費	商工業や観光の振興、労働者対策などの経費	11,651円
議会費	市議会に関する経費	5,125円
諸支出金	行政目的を有しない経費	2,830円
災害復旧費	災害により被災した施設などを復旧するための経費	1,305円
市民1人当たりに使われるお金		682,893円
※令和8年3月31日現在人口(住民基本台帳) 30,649人で算出		



※予備費を含む

# 本年度の主な事業

教育費

## 学校給食

新規

学校給食を無償化



令和8年4月の給食提供分から、市内の小・中学校に在籍する児童・生徒の給食費を無償化し、子育て世代の経済的負担を軽減します。

財源：国庫支出金、県支出金、行方市ふるさと応援寄附金基金

教育費

## 小学校体育館整備

新規

空調設備を全ての小学校体育館に設置を計画



近年の猛暑対策や災害時の環境改善の観点から、避難所となる市内全ての小学校体育館に空調設備を整備します。令和8年度に設計を行い、令和9年度に設置工事を実施する予定です。

財源：合併特例事業債

教育費

## 図書館運営

新規

電子図書館の導入



電子図書館を導入し、いつでもどこでも電子書籍の検索・貸出等ができるようになります。図書館の利用が難しかった多くの方に、読書の機会を提供します。

財源：なめがた振興基金

民生費

## 高齢者福祉対策

高齢者に支援サービスを提供



高齢者のごみ出し支援や愛の定期便などの事業を行うことで、1人暮らし高齢者の日常生活を支えます。また高齢者の見守りを行い、不安や孤独感の軽減を図ります。

財源：行方市ふるさと応援寄附金基金

農林水産費

## 農業振興

新規就農支援や資格取得支援を推進



新規就農者や農業後継者の育成を支援します。担い手の確保や耕作放棄地の拡大防止を図ることで、本市の基幹産業である農業の継続と農村の環境維持を図っていきます。

財源：県支出金、行方市ふるさと応援寄附金基金

民生費

## 保育料無償化

0～2歳児の保育料無償化



保護者の経済的負担を軽減するため、市独自の少子化対策として、0～2歳児の保育料を無償化します。

財源：国庫支出金

総務費

## 物価高騰対策

新規

物価高騰で困っている市民生活を支える



物価高騰の影響を強く受ける市民の負担軽減を図るため、支援金を給付するほか、プレミアム付き商品券を販売します。

財源：国庫支出金

教育費

## 施設使用料

新規

減免基準を見直し



市教育委員会認定の社会教育団体が施設を利用する際、使用料を全額免除します。施設利用者の負担を軽減し、施設の活用促進を図ります。※市文化会館は除く。

財源：行方市ふるさと応援寄附金基金

総務費

## 産業立地推進

新規

県と連携し企業誘致活動を推進



北浦複合団地

北浦複合団地への企業立地を加速するため、北浦複合団地に特化した優遇制度拡充を実施します。企業誘致を推進することで、働く場の確保や定住の促進、地域経済の活性化等につなげます。

財源：合併振興基金、過疎対策事業債

衛生費

## 地域医療対策

新規

オンラインで24時間医療相談



妊婦および中学生までの子育て世帯を対象に、スマートフォン等からチャットで、医師に健康や医療の相談を無料（※）のできるようにします。

※データ通信料は、利用者負担になります。

財源：国庫支出金

総務費

## 公共交通事業

誰もが利用しやすい公共交通網



市営路線バスや乗合タクシーは、利用者のニーズ等を踏まえ、利便性の向上につなげます。また定額タクシーは、運行時間・範囲を拡大し、交通空白解消に取り組みます。

財源：国庫支出金、公共交通システム事業基金、過疎対策事業債等

民生費

## 入学時等支援金 高校生通学支援金

新規

子育て世代の経済的負担を軽減



保護者の経済的な負担を軽減するため、小・中学校・高校等の入学時に20,000円を支給します。また高校へ通学する際の支援金として、30,000円を支給します。

財源：国庫支出金、行方市ふるさと応援寄附金基金

衛生費

## 保健衛生普及

健康の保持・増進を実現



人間ドックや若年層を対象とした、脳ドック受診の際の補助を行います。健診事業により、健康維持と病気の予防・早期発見につなげます。

財源：合併振興基金

総務費

## 防犯対策

新規

地域ぐるみで防犯体制の強化



市内の主要交差点等へ防犯カメラを増設するほか、家庭への防犯カメラの設置を後押しします。地域ぐるみで防犯体制を強化し、犯罪に対する抑止力の向上を図ります。

総務費

## 防災減災対策

新規

地域全体で地震に備える



想定される大規模な地震に備え、火災を未然に防ぐための感震ブレーカーの設置を後押しします。また災害時の避難所等のトイレ問題を解決するため、災害用トイレカーを購入します。

財源：緊急防災・減災事業債

土木費

## 幹線道路整備

広域幹線道路と接続する幹線市道の整備



市内の国道と県道間および市内集落の主要拠点をつなぐ路線を整備し、利便性・安全性の向上を図ります。

財源：国庫支出金、合併特例事業債